

Twitterの半分のメッセージは英語以外の言語で 日本語は二番目の使用言語

Twitterの量的及び意味論的な分析

Twitterのメッセージを280万通分析したところ、英語のメッセージは全体の半分しか占めないことが明らかになった。一番使用されている5つの言語は上位から英語、日本語、ポルトガル語、マレー語とスペイン語。

Twitter上一番使用されているのはどの言語かを測定するため、2月8日から10日の48時間の間に投稿されたメッセージを分析した。弊社Semiocastの分析ツールは41の言語(ギリシャ語、ヘブライ語、中国語、韓国語、タミル語等)を識別出来る。

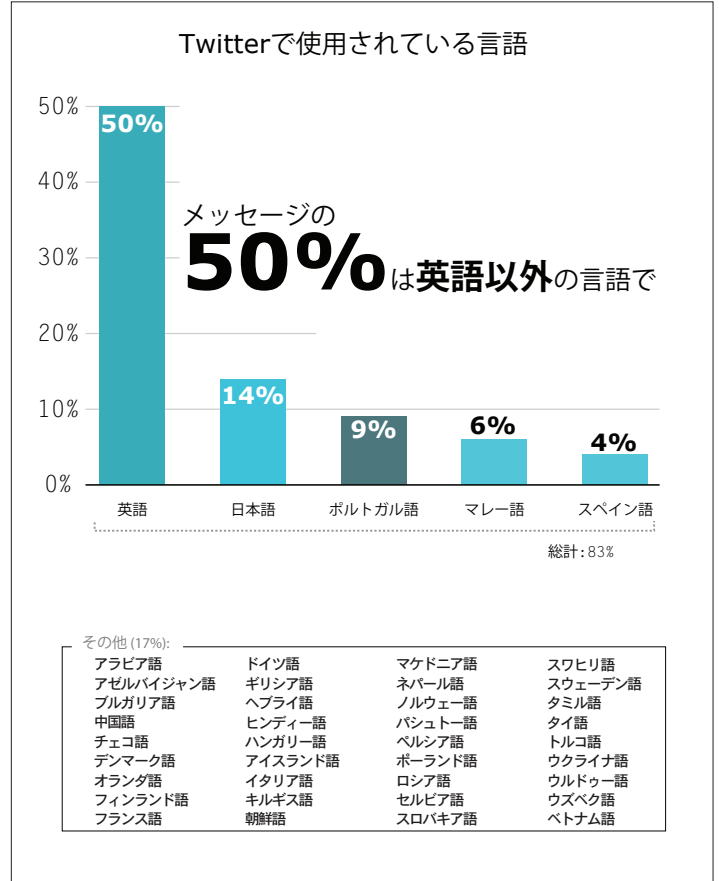
一番使われている言語はメッセージの50%を占める英語。Twitterの英語圏での浸透と、英語が母国語でなくても英語でメッセージを書く人々の多さの表れ。しかし2009年上期では英語のシェアは3分の2だったので、割合は減っている。

次に使用されているのが日本語、メッセージの14%を占める。この数字はTwitterの日本での人気の象徴で、Twitterの国際発展の第一ステップは日本だったこと証明している。

第三に使われているのがポルトガル語。ブラジルでのソーシャルネットワークの成功の表れだ。

メッセージの6%を占めるマレー語が四位にランクイン。Twitterがマレーシアとインドネシアの携帯電話会社とパートナーシップを組んだ結果である。

第五位の言語がメッセージの4%を占めるスペイン語。世界でスペイン語を話す人々が多いからだ。特にTwitterが開発された米国でも多くの人がスペインを話す。



意味論的な分析をするには言語の識別が必須。どんな標準インディケータも、メッセージが何語で書かれたのかがわからない限り正確に評価出来ない。

【Semiocastについて】

弊社Semiocastはフランス・パリをベースとし、リアルタイム・ウェブのデータ抽出と研究に取り組んでいます。独自のテクノロジーでリアルタイム・ウェブ上の会話を分類し、意味論的な分析をします。

広告やプロダクトローンチに対する消費者のリアクションの測定及び評価、商品、サービスやブランドについて消費者がどのような発言をしているのかを理解する手助けをしています。企業と消費者のリアルタイム・ウェブ上の会話促進にも取り組んでいます。

More information : semiocast.com

Contact : Paul Guyot (paul@semiocast.com — +33.175000290)